

評価者	都市景観部長	吉田 浩
-----	--------	------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	歴史的風土の保存
目標とすべきまちの姿	国指定史跡、歴史的風土保存区域内の重要な地域に恒久的保存措置が施され、歴史的遺産と自然的環境が保存されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	19.8%	平成30年度(2018年度)	17.0%	平成29年度(2017年度)	17.9%
	平成28年度(2016年度)	17.8%	平成27年度(2015年度)	18.0%		

(2) 妥当性

**令和元年度(2019年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.8%	1.4%	0.5%
ちょうどよい	2.7%	39.4%	2.6%
効果不十分	2.9%	4.3%	18.9%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成30年度(2018年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.1%	0.7%	0.2%
ちょうどよい	2.8%	40.8%	2.1%
効果不十分	2.8%	4.3%	22.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成29年度(2017年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.8%	1.4%	0.4%
ちょうどよい	4.2%	35.3%	1.8%
効果不十分	4.2%	5.6%	20.6%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成28年度(2016年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.5%	1.4%	0.2%
ちょうどよい	3.9%	37.5%	3.0%
効果不十分	2.1%	7.1%	20.4%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成27年度(2015年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.3%	1.1%	0.6%
ちょうどよい	1.9%	36.3%	1.6%
効果不十分	4.6%	4.7%	22.6%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**(3) 今後の進め方**

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	31.8%	38.2%	2.9%	27.0%
平成30年度(2018年度)	34.5%	39.8%	3.3%	22.3%
平成29年度(2017年度)	33.0%	37.4%	3.7%	25.8%
平成28年度(2016年度)	33.7%	40.7%	1.6%	24.0%
平成27年度(2015年度)	33.9%	37.6%	3.4%	25.0%

**2 内部評価**

**(1) 令和元年度(2019年度)の目標**

①風致地区条例及び古都保存法の趣旨等について、理解と協力を求め、都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全等を図る。(都景-03)

**(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性**

①風致地区条例及び古都保存法の趣旨等について、理解と協力を求め、都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全等を図り、歴史的遺産と自然環境の保存に貢献していく。(都景-03)

**(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)**

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
都景-03	風致地区事務	1,757	1,333	4.0	4.0	無	b	B

**(4) 主な実施内容**

**【主な実施内容】**

- ①鎌倉市風致地区条例、都市緑地法に基づく特別緑地保全地区及び近郊緑地特別保全地区の許認可等事務。(都景-03)
- ①古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法に基づく歴史的風土保存区域内行為届出、首都圏近郊緑地保全法に基づく近郊緑地保全区域内行為届出の受理。(都景-03)
- ①神奈川県への歴史的風土特別保存地区の許認可等に関する経由事務。(都景-03)

**【実施できなかった事業とその理由等】**

**(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価**

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善

**<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>**

①窓口相談や電話での問い合わせに対して、申請事務の具体事例など、日常業務のあらゆる場面において丁寧な説明を心がけることにより、市民等から風致の維持に協力が得られるよう地道な努力を重ねている。また、市民への理解活動の一環として、毎年地下道ギャラリーを利用して市民等へPRを行っていることから、「目標とすべきまちの姿」の実現に向けた取組は適切と評価した。(都景-03)

**3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)**

整理番号	事業名	単位	指標の 傾向	備考					
当該指標を設定した理由		年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
		目標値							
		実績値							
		達成率							